

# 令和4年度 健康こども部運営方針

部局名 : 健康こども部

部局長名 : 藤原 弥栄

## 基本方針（政策目標）

少子化の進展や社会状況の変化に対応し、子どもを安心して産み育てられる環境、施策づくりに努めるとともに、未病・予防に関して「自分の健康は自分で守る」というセルフケアの推進強化に向けて、市民一人ひとりの健康づくりを進め、誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくりをめざし、以下の主要事業に取り組んでまいります。

- ① 子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末までに引き上げ、未来を担う子ども達の健康を守り、子育て世帯への経済的支援を行います。
- ② 聴覚障害による言語発達等の影響を最小限に抑えるため、新生児聴覚検査に係る費用を助成し、先天性難聴の早期発見・早期療育を図ります。
- ③ 障がいや発達に課題のある児童とその家族に対し、発達段階に応じた切れ目ない支援を行うため、発達支援の中核となる児童発達支援センターの令和5年度開設に向け、指定管理事業者と協議及び準備を進めます。
- ④ 「泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画」に基づき、条南小学校区において、令和6年4月に民間事業者が運営する幼保連携型認定こども園の設置をめざし、事業者選定手続きを進めることで、待機児童の解消及び教育・保育の質の向上を図ります。
- ⑤ 子どもの健全な体づくりをめざし、特に成長が著しい時期である幼児期の子どもに対して安心安全な給食を提供するため、就学前施設の給食に使用する米、味噌、野菜のオーガニック化を進めます。
- ⑥ セルフケアの推進強化に向けて、市民一人ひとりの健康づくりを推進するための基本理念などを定めた「（仮称）泉大津市健康づくり推進条例」を制定し、健康づくりの推進を図ります。
- ⑦ 市民が自分の体の状態を多様なヘルスケアデータなどから可視化し、状態を知

り、整え、改善するため、あしゆびプロジェクトをはじめとした取組みなどを、官民連携・市民共創による実証実験を行いながら、健康力、生活の質（QOL）の向上をめざします。

- ⑧ 大阪府の健活スマートフォンアプリ「アスマイル」に電子マネー等に交換できる市の独自ポイントを設定し、市民の健康活動参加への機運の向上に取り組めます。
- ⑨ がん患者の抗がん剤の副作用や手術後の外見上からくる社会参加への不安や精神的苦痛の軽減を図るため、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用を助成する「アピアランスサポート事業」を開始します。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症の陽性者等に対するオンライン相談や、コロナ後遺症者やワクチンの副反応等に対する対策については引き続き実施をしていきます。